

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	宇部市家庭教育支援チーム (こどもえがおサポートチーム黒石)
②活動拠点	宇部市立黒石中学校 宇部市立黒石小学校 宇部市立原小学校
③活動範囲	同上(各校区)
④組織体制	3人 スクールソーシャルワーカー1人 訪問型家庭教育支援員2人(各小学校区ごとに1名配置)
⑤活動開始年度	平成28年度(2016度)
⑥問合せ先	宇部市教育委員会教育支援課 (TEL) 0836-34-8630 (FAX) 0836-22-6071 (E-mail) g-anshin@city.ube.yamaguchi.jp

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> <u>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)</u> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> L <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> </div> <input checked="" type="checkbox"/> その他(子育てサロンの開催等)
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の不登校傾向の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【毎月の学校との連絡会議】 毎月初旬に、校区内の小中学校長とこどもえがおサポートチーム及び教育委員会が参加する連絡会議を開催して情報交換を実施する。</p> <p>【家庭訪問支援】 連絡会議で学校から支援依頼のあった家庭への訪問を行う。また、必要に応じて登校支援や、専門機関への橋渡し等を行う。</p> <p>【地域・学校行事等への参加】 地域のお祭りや運動会等の行事に参加することにより、児童生徒の様子を見守るとともに、支援家庭との関係づくりや情報収集の場として活用する。</p> <p>【こどもえがおサポートチーム連絡会議】 学期ごとに全チームが集まり情報交換を行い、適宜、研修会も開催する。</p> <p>【えがお de サロンの開催】 保護者懇談会の日に合わせて、子育てサロンを小学校で開催し、気軽に足を運べる相談の場を提供すると共に、保護者同士の繋がりがりづくりのためのサポートを行う。</p> <p>【その他】 県主催の家庭教育アドバイザー養成講座・ステップアップ講座や各種研修会へ参加し資質向上に努めている。 他部署や民間団体と連携し、生活支援や学習支援等も合わせて実施。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p><令和元年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆支援家庭数:12家庭 ◆家庭訪問:52回 ◆学校・地域行事への参加:28回 ◆登校支援、電話相談、会議等:90回 ◆サロンの実施:2回 ◆他部局との連携:5回 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問による傾聴で終わるのではなく、必要に応じて関係機関と連携したり、専門機関へ繋いだりするケースが増えている。 ・毎月の学校での連絡会議により、学校との情報共有が徹底され、また小中の切れ目のない支援に繋がっている。 ・個別訪問(点の支援)、子育てサロンの開催(面の支援)を実践することで、誰一人取り残さない社会の実現を目指している。 ・子育てサロンを通じて、チームの周知が少しずつ広がってきている。令和2年度は、PTAと連携して中学校で子育てサロンを開催した。 ・被支援者アンケートでは、「登校しぶりが解決した」「家庭が明るくなり笑顔が増えた」「地域行事で話を聞いてもらえて良かった」などの声がある。
<p>⑤活動財源</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:学校を核とした地域力強化プラン)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>()</p>